

新吉田地区

地域福祉保健計画

(計画期間：平成 18 年度～22 年度)

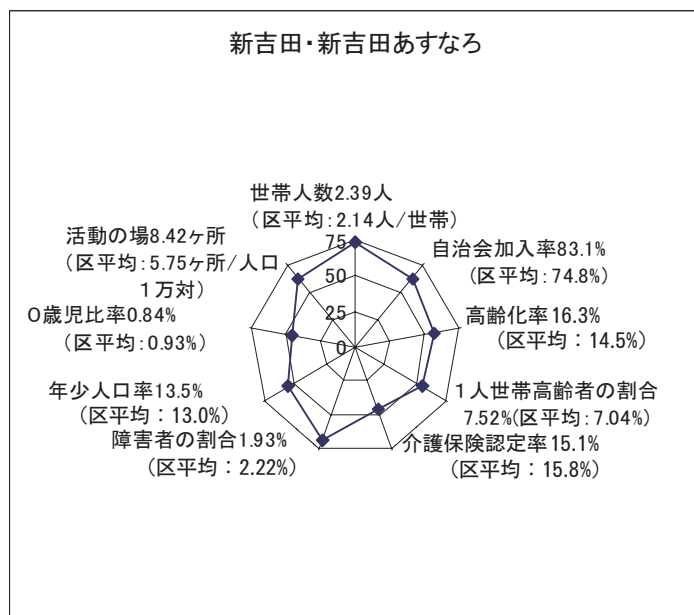
I 新吉田地区の現状と課題

1 新吉田地区の特徴

新吉田地区は、新吉田町・新吉田東の一部をその範囲としています。新吉田地区には12の自治会町内会があります。

総人口は約20,000人、年少人口よりも老年人口の方が多くなっています。1世帯あたりの人数は2.39人で、13地区中最も高くなっています。

新吉田地区は、農地などもあり自然環境に恵まれています。坂道・階段も多く不便な場所も多い地区です。マンションの建設により子育て中の若い世帯が増加していますが、幼稚園・保育園数は少ない状況です。一方、高齢者や障がい者の福祉施設は多数ある地区です。



※地区データは新吉田地区・新吉田あすなろ地区の合計で掲載されています。(2地区の総人口27,320人、新吉田地区約20,000人・あすなろ地区約7,300人)

2 新吉田地区の課題

① 交流

○転入者と古くから住む住民との交流の場が少ない、高齢者と他の世代との交流がうまくいかないなどの状況があります。高齢者と子どもが自然に交流できる場の提供やサラリーマン世代も巻き込んだイベントの実施など、住民同士の交流が活発になる仕組みづくりが求められています。

○地域の高齢者や障がい児者をめぐっては、障害のある方に対する理解を深め、ふれあいの輪を広げていくと同時に、道路事情を中心としたバリアフリーを推進していくことが求められています。

② 情報・相談

○自治会町内会に入っていない人には情報が伝わらないなど、地域の情報が特定のルートでしか入ってこないため、必要としている人に十分届いていない面がある一方、受け取る側も自分が必要とならない限り興味を持たないため、必要となった時に情報を十分活用できていない実状があります。

③ 場・拠点

○身近なところに集まる場所がない、場所があっても予約がいっぱいでとれないなど、地域活動の場の不足が問題となっています。学校の活用も視野に入れた拠点の整備を進めることが必要と考えられています。

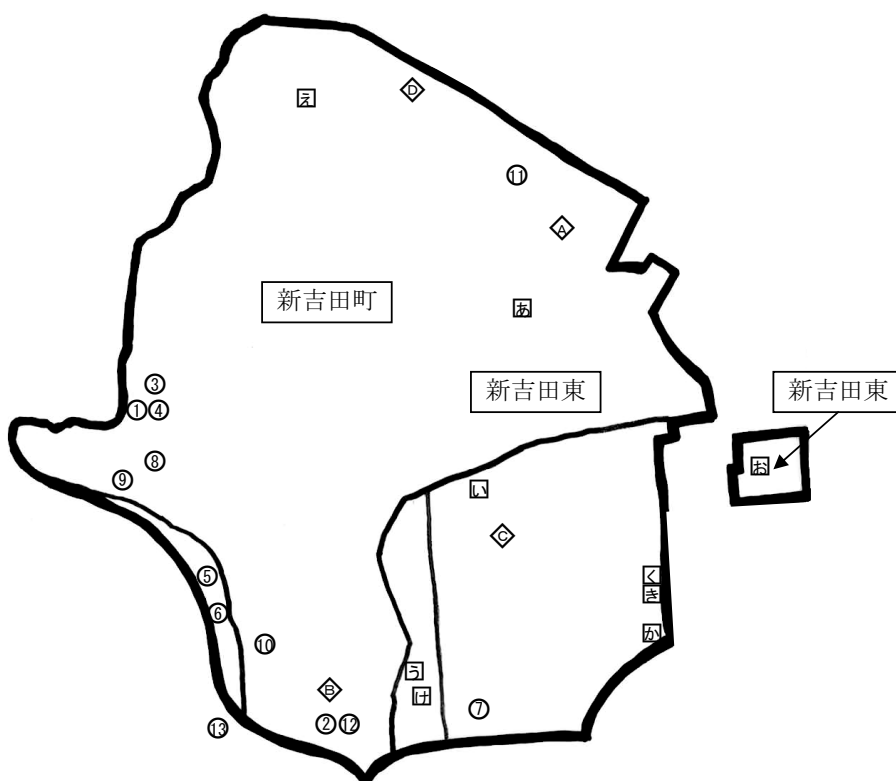
④ ボランティア・担い手

○ボランティア活動を始めるとしたらよいか分からないという状況があります。ボランティアについての情報提供や積極的な声かけを様々な場所で進めていくと同時に、ボランティアの希望者をこれまでの経験を生かせるような活動へつなげていく仕組みづくりが必要とされます。

⑤ 安心・安全

- 小学校PTAのパトロール活動と地域の防犯活動が一体になっていないなど、学校と地域の連携が不十分であるという状況があり、地域からは学校側がもう一歩踏み出してほしいと希望が出されています。
- 防犯の観点から、単身の高齢者が周囲の知らない間に施設に入所して住む人がいなくなった空き家の管理や、夜間に無人となる事業所の見回りなどの体制を検討する必要があります。

3 地域の拠点や福祉保健の取り組み状況



< 保育園・小学校 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
◇	森のエルマー保育園	・ しんよしだ公園で地域の母子と交流会を開催 ・ 「エルマーとお日さまの会」を毎月曜日開催
◇	市立新田小学校	・ 学校開放
◇	市立新吉田小学校	・ 学校開放
◇	市立新吉田第二小学校	・ 学校開放

< 自治会館・町内会館・集会所等 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊦	本町会館	
㊧	新吉田第二町内会	
㊨	新吉田会館	
㊩	新吉田町北部町内会館	
㊪	吉住会館	
㊫	新吉田南町内会館	

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊦	新吉田東町会会館	
㊧	新生町内会会館	
㊨	綱島ハイム集会所	・花火大会等を開催【綱島ハイム子ども会】

<福祉施設・公共施設・ボランティアグループなどの活動場所>

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
①	新吉田地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ミニデイサービス【もみじの会】 ・サークル【ソーイングボックス】 ・手話グループ【さくら手話の会】 ・ボランティアグループ【ほっと新吉田】 ・ほっと新吉田新聞を発行 ・親子ひろば「はぐHUG」月1回開催【地域ケアプラザ主催】 ・介護者のつどい【同上主催】 ・転倒骨折予防体操教室【同上主催】 ・パパの育児教室【区・地域ケアプラザ共催】 ・新吉田地区地域支え合い連絡会開催
②	新田地区センター	<ul style="list-style-type: none"> ・新吉田赤ちゃん会月1回実施【区主催】 ・子育て支援者の相談（毎金曜日）【区主催】 ・子育てサークル【バンビーノ・クッキーズ】 ・新田クラブ ・転倒骨折予防体操教室【地域ケアプラザ主催】 ・転倒骨折予防体操教室自主グループ ・地域の障害者の会【港北あゆみ会】
③	知的障害者更生施設花みずき	・知的障がいのある人が入所、通所し日常生活の自立に向けた援助を受けています
④	身体障害者療護施設横浜らいず	・常時介護を必要とする身体障がいのある人が入所し、日常生活の援助を受けています
⑤	障害者グループホーム第2よつばホーム	・身体障がいのある方がグループで生活しています
⑥	障害者グループホームよつばホーム	同上
⑦	障害者地域作業所地域福祉作業所はんど	・身体・知的障がいのある人が自主製品等の製作をしています
⑧	特別養護老人ホーム港北みどり園	・介護が必要な高齢者の日常生活の世話・機能訓練・健康管理などを行う介護老人福祉施設
⑨	介護老人保健施設ウエルケア新吉田	・日常生活動作のリハビリ等を行いながら、在宅生活復帰をめざす施設
⑩	介護老人保健施設ナーシングプラザ港北	
⑪	しんよしだ公園	・エルマーとおひさまの会
⑫	新田公園	・公園あそびを月1回実施
⑬	新羽消防署	・看護教室講師依頼

その他の活動等	
・学校から依頼された「地域の先生」(昔遊びを教えるなど)の取り組みが少しずつ始まっています	
・三世代交流事業として、町内会で小学校の体育館を借りて輪投げ大会を行うなど、皆で同じ目的を持って集う場づくりをしています	
・町内会とPTAとで交流の場「子ども広場」を立ち上げました（一緒に飯ごう炊さんなどを行っています）	
・災害発生を前提とした、高齢者の居場所マップを作っています	
・夜間、職員が不在となる工場の防犯のために警察にパトロールを頼んでいます	
・空き家の防犯対策のために不在の家をわかる範囲で情報提供しています	
・町内会で地域福祉作業所「はんど」との交流会を年2回行っています	
・ボランティアグループ「ほっと新吉田」のちらしが全戸配布されています（平成18年3月配布1回・回覧版2回）	

Ⅱ 新吉田地区の行動計画

1 新吉田地区のスローガン

- (ア) 自分からはじめのあいさつができるまち 新吉田
- (イ) 手をつなごう、ほっとするまち 新吉田
- (ウ) 我が家も地域も大切にできるまち 新吉田
- (エ) 世代間での交流、話し合いができるまちづくりをしよう
- (オ) 住民同士がなかよく健康に過ごしていけるまちづくりをしよう

2 行動計画（具体的な取り組み）

(1) 一人ひとりの市民自らの取り組み

- 子どもへのあいさつ、声かけ、注意を顔見知りの子どもから行います。
- 子どもの良い取組や行動を褒め、伸ばしていきます。
- 学校、地区センターなどを活用して、近所との交流を深めるよう努めていきます。
- 地域から自分達のできること（ボランティア）を学校に伝え、教育活動（学校活動）への参加につなげていきます。
- 親子、夫婦のコミュニケーションから近隣とのコミュニケーションへとつなげていきます。
- 通りかかる高齢者に対してあいさつ、声かけをして交流の輪を広げます。
- 各個人で自らの健康を管理していきます。
- 障害のある人たちとの交流を深めていきます。
- 障害を持つ人に対して、日常的に声かけができるようにします。
- 人が集まる場所では、自転車の止め方など責任を持って、高齢者・障害者への思いやりの気持を持って日常の行動をします。
- 回覧板を回すにも郵便受けにではなく、直接顔を見て渡していきます。

(2) 地域での取り組みとそれを支える取り組み

① 交流

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
地域における交流の仕組みづくりのために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域の行事では、声かけをすることで、初めて来る人にも参加しやすい雰囲気を作ります。	●				▶
	○子どものうちに自然に声をかけ合える関係を作ります。	●				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○地域への情報提供の支援を行っていきます。	●				▶
地域・世代間交流を促進するために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域の行事（運動会、お祭り、盆踊り）で異世代間の交流をはかります。	●				▶
住民同士の交流促進のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○高齢者の話し相手、話し合いの場を作ります。	●				▶
	○昔からの伝統も大切に交流を深めていきます。	●				▶
	○地域の関心を深めてもらうため、ふだんからの地道な活動、工夫を大切にしていきます。	●				▶
	○地域の人と話せる機会を増やしていきます。					
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○福祉施設と地域の交流をすすめていきます。	●				▶
障がいを持つ方への理解を深めるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○子どもと障害を持つ方との交流の場を作ります。	検討				▶
	○お互いに接し方を分かっていくために、交流を重ねていきます。	検討				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○学校等をとおして、交流の場をつくりま	検討				▶
交流の方法や場所を検討するために	<地域・みんなの取り組み>					
	○既に町内会と障害者地域作業所と交流を持っているところがあるので、それを他の自治会町内会にも広げていきます。	検討				▶
	○行事などの広報活動に回覧板を活用します。					
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○障がい者及びその団体と地域との交流の場を作っていきます。	検討				▶
	○地区社会福祉協議会は町内会館などの使用についてバックアップしていきます。	検討				▶

② 情報・相談

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
情報の収集・伝達とプライバシー確保のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○防災・防犯の点から、プライバシーに配慮しながら、新吉田地区の「暮らしのガイド」を作っていきます。	●	→			
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○地域の情報を提供していきます。	●	→			
	○福祉施設に行けば、相談ができ、情報がわかるような仕組みづくりをします。	検討				→

③ 場・拠点

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
地域と学校の協働のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○「はまっ子」に昔遊びの先生など地域の人が参加していきます。	検討				→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○地域の現状をより知ってもらうために、学校の先生が行っている地域での活動の拡大を相談・検討していきます。	検討				→
地域の拠点の整備のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○老人会等で会館を借り、日を決めて開放し、話し相手、仲間作りの場を提供していきます。	検討				→
	○地域交流のために空き家、町内会館を活用します。					
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○地域への情報支援を行っていきます。学校の空き教室を利用した拠点の整備を検討します。	検討				→
	○福祉施設と地域が出来るだけ多く交流するよう進め、障がい者や高齢者の理解を深めてもらいます。	検討				→

新吉田地区地域懇談会の様子



新吉田地区地域懇談会
 第1回 平成17年7月17日(日)
 第2回 平成17年8月21日(日)

時間 午後2時～4時
 場所 新吉田小学校 図書館

④ ボランティア・担い手

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22	
地域の担い手の確保のために	<地域・みんなの取り組み>						
	○高齢者の活動の中に、若い世代が入れるよう取り組むことで、少しずつ参加する人を増やしていきます。		●	→			
	○自治会町内会とPTA（子ども会）との交流を続けていくことで、PTA世代を自治会町内会の担い手と連鎖させていきます。	検討					→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>						
	○ボランティアの情報発信を、絶えず根気強く根付かせていくとともに、楽しさを伝えていきます。	検討					→
	○広報や情報提供の支援を行っていきます。	検討				→	
ボランティア活動へのきっかけづくりと長く続けていくための仕組みづくり	<地域・みんなの取り組み>						
	○自治会町内会の定例会でボランティア募集を知らせます。	検討				→	
	○民生委員へボランティアの活動内容を伝えていきます。	検討				→	
	○新吉田地区の「暮らしのガイド」にボランティア情報を掲載していきます。	●	→				
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>						
	○社会福祉協議会での相談・情報提供等、ボランティア活動の支援をすすめていきます。	検討					→
	○福祉施設における活動の場の提供とボランティアの育成を行います。	検討				→	

⑤ 安心・安全

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22	
安全・安心・健康の確保のために	<地域・みんなの取り組み>						
	○単身の高齢者に対して声かけをします。	●	→				
	○防犯・防災を含めて自警団をつくり、巡回することで抑止力となっていきます。	検討					→
	○ハンディキャップのある人を緊急時に対応するソフト・ハード面で支援できる仕組みを検討します。	検討					→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>						
	○犯罪情報等、関係機関との連携を強化して、訓練や情報提供を行っていきます。	●	→				

⑥ 健康づくり

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
自分の健康は自分で守るために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域で健康づくりの活動の輪を拡げていきます。					
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○町ぐるみでの健康づくり団体の支援を行っていきます。					